

平成 30 年 7 月豪雨災害 報告



ガバナー 吉原 久司

— 御礼 —

当地区では、平成 30 年 7 月 3 日から 8 日のわずか 6 日間で 7 月の過去の最大月間降水量を超える雨量を記録するという、広島県・山口県内各地で観測史上初となる記録的な豪雨に襲われ、多くの人的被害や、家屋やインフラといった物的損害など、戦後最大級の被害がもたらされました。

この豪雨災害の犠牲となられました方々に、心より哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

今回の豪雨により、地区内で土砂災害や河川の氾濫が多数発生し、100 名を超える方の尊い命が奪われました。また、約 1 万 6 千棟にもものぼる家屋が被害を受けるとともに、道路や鉄道の寸断、広範囲にわたる水道の断水など、生活や経済活動の基盤となるあらゆるインフラにも多大な被害が生じました。この窮地に、日本のみならず海外のロータリアンからも温かいご支援を賜り、ロータリーの絆の強さを痛切に感じることが出来ました。この組織の一員であることに感謝すると共に、心から誇りに思い、改めまして、心から、御礼申し上げます。ありがとうございました。

— 報告 —

義援金額総額 48,475,339 円

被害状況より勘案して、下記の通り分配し、各県へ義援金として贈呈致しました。

広島県 38,475,339 円 地区大会に湯崎広島県知事をお招きし、義援金を贈呈



山口県 10,000,000 円 山口県の新田パストガバナー、藤中パストガバナー、安保地区代表幹事が村岡山口県知事を訪問し義援金を贈呈

